

完熟の味を消費者に届けたい ～果樹直売とイチゴ狩り園の複合経営～

豊田市 梅村 公治 さん（うめこう桃梨苺園）
施設イチゴ、果樹（モモ、ナシ）

【平成 24 年 12 月 13 日掲載】

豊田市猿投地区でモモやナシなどの果樹を栽培するとともに、地域では珍しいイチゴ狩り園を開園している「うめこう桃梨苺園」の梅村公治さんを紹介します。梅村さんは、古くからの果樹産地にある慣習に縛られることなく、モモやナシのインターネット販売、さらには、イチゴ狩り園の開園など常に新たな取組で経営規模を拡大してきました。平成 24 年には、その経営改善の成果により中日農業賞の優秀賞を受賞されています。

就農と規模拡大

梅村さんは、昭和 63 年に母が体調を崩したのをきっかけに高校を中退し、16 歳で就農します。就農当時、梅村さんの実家は収穫物の全量を農協に出荷するナシ専作農家でした。就農後は、ナシの価格が安定していたこともあり、規模拡大に取り組み、8 年後の平成 8 年には就農当時の 1.6 倍（162a→265a）にまで経営規模を拡大させます。また、梅村さんが住む豊田市猿投地区はモモ栽培も盛んで、大規模な選果場も整備されていたことから、平成 12 年には新規にモモ 50a を開園します。当時は、「この植えた木が成木化すれば、売り上げは自然と伸びていくだろう」考えていたそうです。



イチゴの生育状況を確認する
梅村公治さん

新たな販売方法の模索

ところが、規模拡大を続けていた平成 10 年頃より、ナシ、モモの卸売価格は下がり始めます。公治さんは価格が下落する間も、ただ手をこまねくだけでなく、自園で収穫された果実を使用したフルーツケーキをインターネット販売するなど、打開策を探っていました。

そして、平成 17 年に、ナシの卸売価格が大幅に下落したのをきっかけに共選共販から自家直売に転換する決断をします。これは、かねてより抱いていた「おいしい果物を直接消費者に届けたい。」との想いがこの決断を後押ししたそうです。

しかし、当時所属していた生産部会では「全量農協出荷」が義務付けられており、直売を始めることは部会から脱退することを意味していました。「売り先には困らない」という共選共販の大きなメリットも十分理解していただけに、自分だけで全量売り切れるのかという不安は非常に大きかったそうです。



自宅前に開設した直売所

インターネット販売の成功

公治さんは、フルーツケーキを販売した際に手ごたえを感じていたため、インターネットでの販売に力を入れ始めます。直売所の開始と同時に、自園のホームページを立ち上げ、楽天市場にも出店しました。また、ホームページの立ち上げ後も東京など各地で開催されるインターネット販売に関するセミナーにも積極的に参加し、その成果を経営に生かしたそうです。これらの努力もあり、現在では、果実の7割近くをインターネット市場で販売しています。

新規作物の導入

ナシ、モモの直売開始後は、市場価格に左右されることが少なくなり経営的には安定していました。ただ、公治さんは、もう一回り力強い経営を目指すにはどうすればよいか日々考えていたそうです。そんな時、たまたま家族で訪れたイチゴ狩り園のにぎわいに衝撃を受けたそうです。

早速、イチゴ狩り園について調べてみると、①愛知県は人口の割に農園が少ない、②近隣には農園がほとんどない、③ナシ、モモの収穫期は作業が少ないことがわかりました。それらに加えて、現在、自宅前にある直売所のさらなる集客力の向上も見込まれることからイチゴ狩り園を開園することを決心します。

他地域の視察を行うとともに、栽培システムや料金システムについて研究を重ね、平成20年に16aのイチゴ狩り園を開始します。ナシ、モモの購買者へのダイレクトメールやインターネットでの告知などPRにも力を入れた結果、開園当初から6,000人近くの入場者を得ることができました。16aだったイチゴ狩り園も38aとなり、平成23年には17,000人を超す入場者が訪れています。さらに、公治さんはインターネットの予約状況や農園への問い合わせから、まだまだ需要はあると確信しており、新たに14aのハウスを増設し、平成25年からイチゴ狩り園を拡大する予定です。



入場者で賑わう「うめこう桃梨苺園」
休憩用ベンチが配置され、余裕のある収穫スペースが特徴となっている。

本物の味を目指して

公治さんが直売や狩り園にこだわるのは、経営面での有利性だけでなく、「本当においしい(完熟した)モモやナシ、イチゴを食べてほしい。」という経営理念に基づいています。そのため、「将来的にはイチゴ狩りだけでなく、トマトやサクランボ狩り園も開園し、年間を通じて、完熟した本当においしい農産物を購入できる農園を目指したい。」と語ってくれました。



まもなくイチゴ狩りの始まるイチゴの栽培ハウス

※うめこう桃梨苺園

→ <http://umekouen.com/>

執筆：農業経営課

取材協力：豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課